

産業振興部農林基盤整備課

審査 設計者

令和 7 年度 実施設計書

工事番号
(設計書コード) 37-FE320-09-01-01

委 託 名 令和7年災林道高尾線災害復旧に伴う地質調査業務委託

路線箇所名 林道高尾線

委 託 箇 所 藤 枝 市 瀬 戸 ノ 谷 地 内

委託金額

委 託 期 間 令和 8 年 1 月 3 0 日限り

委 託 概 要 機械ボーリング 2 箇所

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 7 月 基本単価 令和 7 年 7 月 地区コード 2 2 0 地区

起 終 点 指 定

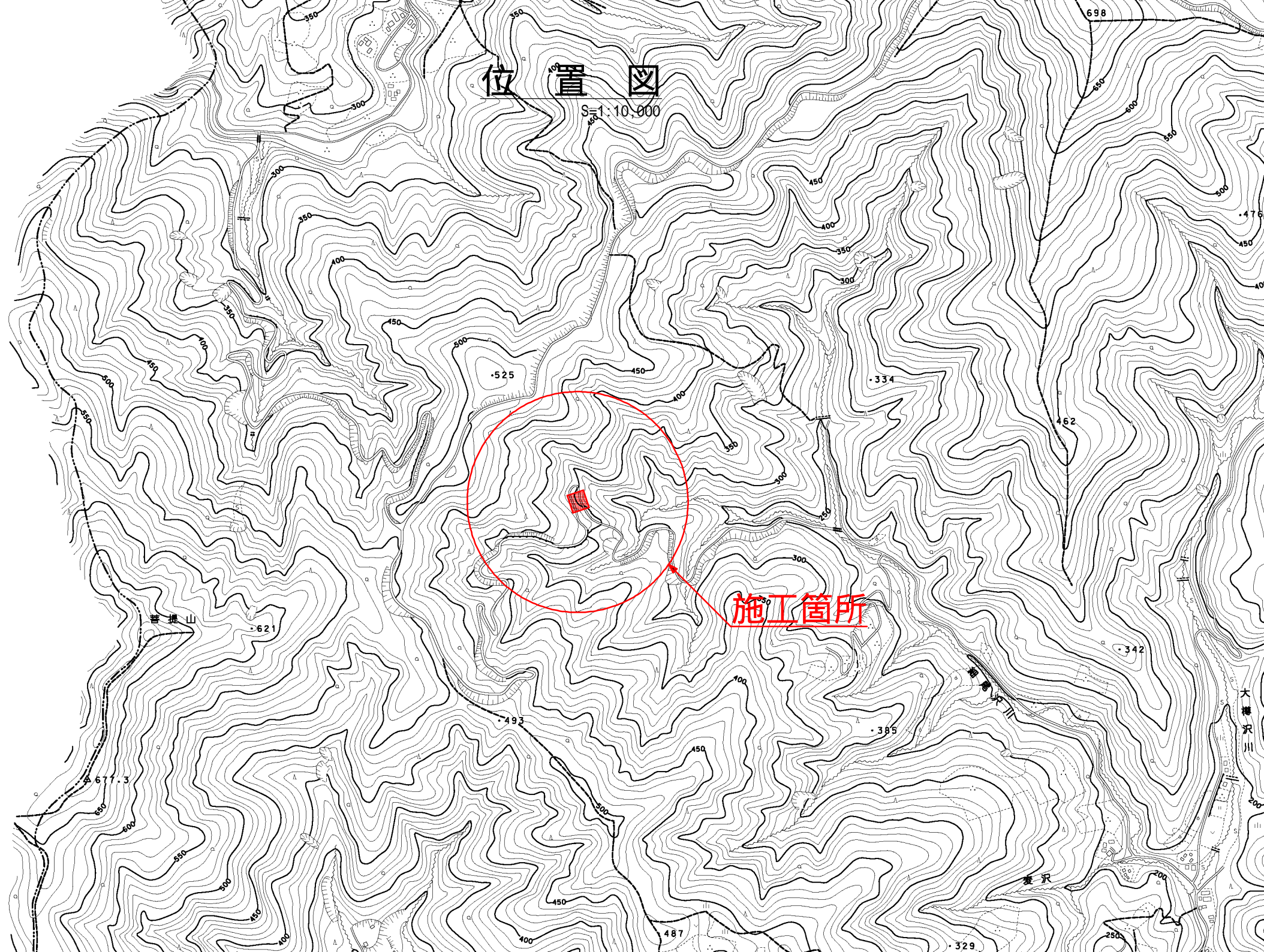


内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

位置図

S=1:10,000

施工箇所



(37-FE320-09-01-01-00-00)

産業振興部農林基盤整備課

測量試験費内訳表（総括）

[illegible]

請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1) 調査業務価格				
(2) ・一般調査業務費				
(3) ・ ・ 純調査費				
(4) ・ ・ ・ 直接調査費	式			
(5) ・ ・ ・ 間接調査費	式			
(6) ・ ・ 諸経費	式			
(7) ・ 解析等調査業務費				
(8) ・ ・ 解析等調査原価				
(9) ・ ・ ・ 直接原価	式			
(1 0) ・ ・ ・ 間接原価				
(1 1) ・ ・ ・ ・ その他原価	式			
(1 2) ・ ・ 一般管理費等	式			

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
地質調査業務委託					
一般調査業務費					
純調査費					
直接調査費					
- 地質調査業務	式	1			
-- 地質調査業務	式	1			
--- 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	式	1			
---- ・ボーリング調査 土質ボーリング 50m以下 φ66 礫混じり土砂 鉛直下方 オールコア	m	4.1			地質第 1号表
---- ・ボーリング調査 岩盤ボーリング 50m以下 φ66 軟岩 鉛直下方 オールコア	m	20.9			地質第 2号表

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- サウンディング及び原位置試験	式	1			
---- ・貫入試験 標準貫入試験 礫混じり土砂	回	3			地質第 3号表
---- ・貫入試験 標準貫入試験 軟岩	回	22			地質第 4号表
--- 計器設置観測	式	1			
---- パイプ式歪計による調査（設置） 1方向2ゲージ 孔の深長：13m	孔	1			地質第 5号表 TV002
---- パイプ式歪計による調査（設置） 1方向2ゲージ 孔の深長：12m	孔	1			地質第 6号表 TV003
---- パイプ式歪計による調査（観測）	孔・回	8			地質第 7号表
---- パイプ式歪計による調査（資料整理）	孔・月	8			地質第 8号表
---- 地下水位測定（設置）	孔	2			地質第 9号表

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 地下水位測定（観測）	孔・回	8			地質第 10号表 水位データ収録装置+水圧式地下水検出器(0-10m計ケーブル20m付き)
---- 地下水位測定（資料整理）	孔・回	8			地質第 11号表
--- 解析等調査					
---- 資料整理取りまとめ（直接調査費分） ボーリング本数：土質=0本 岩盤=2本	式	1			地質第 12号表
---- 断面図等の作成（直接調査費分） ボーリング本数：土質=0本 岩盤=2本	式	1			地質第 13号表
--- 電子成果品作成費等					
---- 電子成果品作成費	式	1			
---- 地盤情報データベース検定費 ボーリング本数：土質=0本 岩盤=2本	式	1			地質第 14号表
間接調査費					

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
平坦地足場仮設 (0. 3m以下)	式	1			地質第 15号表
傾斜地足場仮設 (地形傾斜 30-45°)	式	1			地質第 17号表
・準備及び跡片付け	業務	1			地質第 19号表
現地作業旅費交通費 (通勤ライトバン)	日				地質第 29号表
機械器具等運搬	回	1			地質第 20号表 MV004
施工管理費	式	1			
給水費	式	1			地質第 22号表
諸経費	式	1			

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
解析等調査業務費					
直接人件費					
--- 解析等調査					
---- 計画準備					地質第 27号表
---- 既存資料の収集・現地調査 ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本	業務	1			地質第 23号表
---- 資料整理取りまとめ（解析等調査業務費分） ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本	式	1			地質第 24号表
---- 断面図等の作成（解析等調査業務費分） ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本	式	1			地質第 25号表
---- 総合解析取りまとめ 試験種目数3種以内 ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本	式	1			地質第 26号表
---- 打合せ等（地質調査業務） 中間打合せ＝1回	業務	1			地質第 28号表
	業務	1			

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接原価					
その他原価					
	式	1			
業務原価					
一般管理費等					
	式	1			
地質調査業務価格					

・ボーリング調査 土質ボーリング 50m以下 φ66 礫混じり土砂 鉛直下方 オールコア 地質第 1号表					
金	円	1 m 当り			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
土質ボーリング（オールコア）（市場単価） φ66mm レキ混じり土砂		m	1		
計					

1, #等:諸経費等対象額

作業区分・せん孔深度=土質ボーリング 50m以下, 孔径区分・土質区分=φ66 礫混じり土砂, ボーリング種類=オールコア

・ボーリング調査 岩盤ボーリング 50m以下 φ66 軟岩 鉛直下方 オールコア 地質第 2号表					
金	円	1 m 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
岩盤ボーリング (市場単価) φ66mm 軟岩					1
	m	1			
計					

1, #等:諸経費等対象額

作業区分・せん孔深度=岩盤ボーリング 50m以下, 孔径区分・土質区分=φ66 軟岩, ボーリング種類=オールコア

・貫入試験
標準貫入試験 礫混じり土砂

地質第 3号表

金 円 1 回 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
標準貫入試験 (市場単価) レキ混じり土砂		回	1		
計					

1, #等:諸経費等対象額

金 円						1 回 当り	
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
標準貫入試験 (市場単価) 軟岩		回	1				
計							

1, #等:諸経費等対象額

TV002					
パイプ式歪計による調査(設置) 1方向2ゲージ 孔の深長:13m					
地質第 5号表					
金 円 1 孔 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
地質調査技師	人				
主任地質調査員	人				
地質調査員	人				
パイプ式歪計(1方向2ゲージ) φ48mm、t3.6mm	本	13			1
リード線 3芯平行リボン線	m	110.5			1
雑品	%				
計					

TV003					
パイプ式歪計による調査(設置) 1方向2ゲージ 孔の深長:12m					
地質第 6号表					
金 円 1 孔 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
地質調査技師	人				
主任地質調査員	人				
地質調査員	人				
パイプ式歪計(1方向2ゲージ) φ48mm、t3.6mm	本	12			1
リード線 3芯平行リボン線	m	96			1
雑品	%				
計					

パイプ式歪計による調査（観測）

地質第 7号表

金 円 1 孔・回 当り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
主任地質調査員					
		人			
地質調査員					
		人			
材料費					
		%			
【損料】 静歪み指示計					
		台・日			
計					

パイプ式歪計による調査（資料整理）

地質第 8号表

金 円 1 孔・月 当り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
地質調査技師					
		人			
主任地質調査員					
		人			
地質調査員					
		人			
材料費					
		%			
計					

地下水位測定（設置）						地質第 9号表
金 円		1 孔 当り				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
地質調査技師	人				1	
主任地質調査員	人				1	
地質調査員	人				1	
材料費	%					
計						

地下水位測定（観測）						地質第 10号表
金 円 1 孔・回当り						
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
主任地質調査員	人				1	
地質調査員	人				1	
材料費	%					
地下水位計	孔・日					
計						

地下水位測定 (資料整理)

地質第 11号表

金 円 1 孔・回 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
主任地質調査員					
		人			
材料費					
		%			
計					

資料整理取りまとめ（直接調査費分） ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本						地質第 12号表
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
資料整理とりまとめ（土木・森林） 直接調査費分		業務				
小計						
【補正係数】（ボーリング本数による）		X				
計						

1, #等:諸経費等対象額

土質ボーリング本数＝0本， 解析等調査業務費分／直接調査費分＝直接調査費分（未記入は解析等調査業務費分）， 岩盤ボーリング本数＝2本

断面図等の作成（直接調査費分）
ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本

地質第 13号表

金 円 1 式 当 り					
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
断面図等の作成（土木・森林） 直接調査費分	業務				
小計					
【補正係数】（ボーリング本数による）	X				
計					

1, #等:諸経費等対象額

土質ボーリング本数＝0本， 解析等調査業務費分／直接調査費分＝直接調査費分 （未記入は解析等調査業務費分）， 岩盤ボーリング本数＝2本

地盤情報データベース検定費
ボーリング本数：土質=0本 岩盤=2本

地質第 14号表

金 円		1 式 当り		施工管理費・諸経費対象外		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
地盤情報データベース検定費						
		本	2			
計						

平地足場仮設 (0.3m以下)					
地質第 15号表					
金	円	1 式 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
・足場仮設					地質第 16号表
平坦足場 (0.3m以下)、深度:5.0m以下					
				箇所	1
計					

1, #等:諸経費等対象額

ボーリング深度5.0m以下の箇所数=1箇所

・足場仮設
平坦足場（0.3m以下）、深度：5.0m以下
地質第 16号表

金 円 1箇所当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
平坦足場（市場単価） 嵩上げ足場(0.3m以下)					1
	箇所	1			
補正係数：K1					
	X				
計					

1, #等:諸経費等対象額

施工区分=平坦足場（0.3m以下）， 深度区分=5.0m以下

傾斜地足場仮設（地形傾斜 30-45°）					
地質第 17号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
・足場仮設 傾斜地足場 地形傾斜 30-45°、深度：50m以下	箇所	1			地質第 18号表
計					

1, #等:諸経費等対象額

ボーリング深度50m以下の箇所数=1箇所

・足場仮設
傾斜地足場 地形傾斜 30-45°、深度：50m以下
地質第 18号表

金 円 1箇所当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
傾斜地足場(市場単価) 地形傾斜 30-45°					1
	箇所	1			
補正係数：K1					
	X				
計					

1, #等:諸経費等対象額

施工区分=傾斜地足場 地形傾斜 30-45°， 深度区分=50m以下

・準備及び跡片付け					
地質第 19号表					
金 円 1 業務 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
準備及び跡片付け					
		業務	1		
計					

M V O O 4		機械器具等運搬				地質第 20号表	
金	円	1 回 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
機械器具等運搬 2.9t吊り3tトラック						地質第 21号表	MV003
		回	2				
計							

M V 0 0 3		機 械 器 具 等 運 搬 2.9t吊り3tトラック		地 質 第 2 1 号 表		
金	円	1 回 当 り				
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運 転 手 (特 殊)		人				
軽 油 バ ト ロ ー ル 給 油						
ト ラ ッ ク 損 料 (運 転 時 間 あ た り) 3 t 車 (ク レ ーン 付 き)		L	1 0 . 6			
		時 間				
ト ラ ッ ク 損 料 (供 用 1 日 あ た り) 3 t 車 (ク レ ーン 付 き)		日				
計						

TV001		給水費		地質第 22号表		
金 円		1 式 当り				
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
給水費（ポンプ運転）（市場単価） 20m以上150m以下		箇所	2			
計						

既存資料の収集・現地調査
ボーリング本数：土質=0本 岩盤=2本

地質第 23号表

金 円 1 式 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
既存資料の収集・現地調査 (土木・森林) 解析等調査業務費分					
		業務			
小計					
【補正係数】 (ボーリング本数による)					
		X			
計					

1, #等:諸経費等対象額

資料整理取りまとめ（解析等調査業務費分）
ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本

地質第 24号表

資料整理取りまとめ（解析等調査業務費分）
ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本

地質第 24号表

金 円		1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
資料整理とりまとめ（土木・森林） 解析等調査業務費分		業務				1
小計						
【補正係数】（ボーリング本数による）		X				
計						

1, #等:諸経費等対象額

断面図等の作成（解析等調査業務費分）
ボーリング本数：土質＝0本 岩盤＝2本

地質第 25号表

金 円 1 式 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
断面図等の作成（土木・森林） 解析等調査業務費分		業務			
小計					
【補正係数】（ボーリング本数による）		X			
計					

1, #等:諸経費等対象額

総合解析取りまとめ 試験種目数3種以内 ポーリング本数：土質=0本 岩盤=2本						地質第 26号表
金	円	1 業務 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
総合解析とりまとめ（土木・森林） 解析等調査業務費分		業務	1			
試験項目別による補正		X				
ポーリング本数による補正		X				
小計						
小計に補正割増を行なう						
計						

1, #等:諸経費等対象額

計画準備

地質第 27号表

計画準備						地質第 27号表
金 円 1 業務 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人				
技師 (A)		人				
技師 (B)		人				
技師 (C)		人				
計						

打合せ等(地質調査業務)
中間打合せ=1回

地質第 28号表

金 円 1 業務 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
業務着手時					
		回			
中間打合せ					
		回			
成果物納入時					
		回			
計					

1, #等:諸経費等対象額

現地作業旅費交通費（通勤ライトバン）						地質第 29号表
金	円	1 日 当り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド		l				
ライトバン 1.5L（運転時間あたり損料）		時間				
ライトバン 1.5L（供用日あたり損料）		日				
計						

委託業務の品質確保における特記仕様書（標準）

本業務の品質確保を徹底するため、引渡し後の成果物の品質に関し、留意事項を定めるものです。

1 設計図書等の作成（工事関連業務）

成果物の引渡し後であっても、次に記載する事項で発注者の指示があった場合においては、原則として無償で設計図書等の作成及び修正を行うものとする。

（ア）設計と現場の乖離（設計と現場が合わない）により設計変更が生じたとき

（イ）設計の不備・誤謬等により設計変更が生じたとき

2 設計内容についての助言等（工事関連業務）

（１）重要な事項等に関しては、必要に応じて関係者へ説明を行うなど、支障が生じないよう適切に対応するものとする。

（２）成果物の引渡し後であっても、発注者が設計内容についての助言等を求めた場合においては、適切に応じるものとする。

（３）受注者は、発注者の指示において本業務に係る工事を請け負う者から協議事項や質疑事項に関して問い合わせ等があった場合、これを発注者によるものとして、誠意をもって適切に対応するものとする。

3 委託業務共通事項

（１）受注者は、成果物に契約不適合があった場合、完了検査等に合格したことをもって免れるものではないため、成果物に修正を施すなど誠実に対応するものとする。

（２）受注者は、発注者より期待した成果物と実態が乖離していると指摘を受けた場合、前項各号と同様に誠意をもって適切に対応するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。